

あせみかわ かつせいか すいしん いいんかい

汗見川活性化推進委員会

～清流とともに地域を継ぐ みんなのふるさとづくり～



平成20年5月から旧小学校を宿泊施設として運営



地元ガイドによる岸つつじツアー(平成13年度から)

経緯

- 昭和47年に、地域を流れる川「汗見川を美しくする会」を結成し、次世代につなぐ景観づくり、人づくりを開始。
- 平成13年より、過疎・高齢化や鳥獣被害が進む中、危機感を募らせた地域住民が継続と活性化を目指し、新たに「汗見川活性化推進委員会」を設立して交流事業や景観活動を開始。

取組内容

- 植栽・伐採による河川沿いの景観整備や岸つつじツアー、地域運動会などを実施。
- 廃校活用の体験宿泊施設「汗見川ふれあいの郷清流館」でのソバ打ち、ピザ焼きやグリーンウッドワークなどの農山村体験、都市農村交流、景観づくり活動などを実施。
- 地域のシソ(全量買取)を活用したアイス、ドリンクの商品化。

活動の効果

- 地域挙げての活動内容は、多くのテレビ取材などで情報発信されたことにより、清流館の知名度が上がり、交流人口が増えるなど、大きな波及効果を生んでいる。
- 宿泊事業と特産品事業のシソ加工品で収益向上の取組を展開、地域経済活動の活性化により新たな事業グループも誕生。地域内の担い手や活動の場が拡大した。
- 飲み会の場づくりや共同作業を通じて、移住者の地域活動への参加がスムーズにでき、U・Iターンをする人の増加、高齢化率の低下に結びついている。

応募団体からのアピール・メッセージ

「汗見川ふれあいの郷清流館」を拠点に、農山村体験や地域の魅力づくりで交流人口の増加とともに、活動体制を継続し住民の生きがいづくりの推進を目指します。地域ファンクラブ「ちっとええぜよ汗見川」とともに、地域密着型のサポーター制度「おらんくかぞく」会員募集中！